



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明朗で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒

〈重点目標〉自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

令和5年3月2日（木）

第43号

発行責任者

校長 志賀 嘉津美

電話 22-3802

卒業までカウントダウン～第1回卒業式全体練習～

2月28日（火）、卒業式に向けた全体練習を行いました。本日の全体指導では、礼法指導や式の流れが練習がメインです。校長からは卒業式の目的や意義として、「卒業式は3年間で立派に成長した姿を支えてくださった方々に見ていただき、感謝の心を表す場であること。皆さんはどんな姿を見せてれますか？」と話し、当日のマスクの取扱いについても確認をしました。卒業生・在校生そして教職員が力を合わせて、義務教育9年間の集大成にふさわしい式にしていきたいと思います。



3年生への感謝の気持ちを込めて～手作り集会～ 2月28日（火）、生徒会による「手作り集会」がありました。オープニングは、実行委員の寸劇から部活動ごとに先輩への感謝を綴った動画の上映となりました。続いて行われたのは、原町三中恒例のドッジボール大会です。

3年間を振り返った思い出のスライドショーでは、かわいらしい入学時の様子からたくましく成長していく3年生の姿がスクリーンに映し出されました。懐かしい映像が映し出されるたびに、大きな歓声が上がりました。また、サプライズとして昨年お世話になった先生方からのメッセージが映し出されるとさらに大きな歓声がありました。

会の中で羽根田さん（2年）と鈴木さん（2年）が生徒会を代表してあいさつと3年生への感謝の言葉を述べました。最後は、3年生を代表して、緑川さんから後輩に向けてのメッセージがあり、特設応援団から3日後に控えた高校入試に向けてエールが送られました。3年生への感謝と後輩への思いに包まれた素晴らしい『手作り集会』でした。



未来の教師を応援します！ 2月28日（火）、宮城教育大学の学生を中心としたボランティア団体manaco（マナコ）の皆さんのが本校を訪問されました。この団体は、すべての子どもたちに寄り添った教育をするため、オンライン上の居場所を提供することを目的として活動している学生ボランティア団体です。東日本大震災時の学校の様子や教員の経験談を、今後の自身の教職活動に生かしたいという申し入れがあり、教職を志す学生を応援する意味も含めて、受け入れをしました。

講話では、校長や教頭・教務主任・養護教諭から震災当時の原町三中の様子やそれぞれの被災体験を話しました。また、体育館で行われていた「手作り集会」を参観し、3年生の中学校生活を振り返る思い出のビデオを生徒と一緒に鑑賞しました。

manaco（マナコ）の皆さんは、2日間かけ相双地区の震災遺構等を巡り、最終目的地として本校を訪れました。このような志を持った若い方が、教師を志してくれることはうれしい限りです。今後も、このような学生の皆さんを支援していきたいと思います。

